

発刊にあたって

NPO・地方行政研究コースの名による本書の発刊は、今年度で最後になります。本コースは研究科横断型の大学院修士課程として2003年度に開設され、以来13年の歴史を刻んできました。2016年度からは「地域公共人材総合研究プログラム」と名称を変更し、新たに経営学研究科の参加を得て、法学・政策・経営の3つの共同運営研究プログラムへと発展することになりました。しかしプログラムの目的は従来と変わらず、今日の自治・分権の時代において活躍する地域公共人材（高度専門的な資質を有する人材）の育成にあります。

本大学院の特徴は大きく3つあります。1つは複数の研究科による共同運営です。2つは、広く地域社会に開かれた大学院だということです。本大学院は、これまで自治体やNPO団体等と地域連携協定を結び、豊かな実務能力と社会経験をもつ大学院生を積極的に受け入れてきました。2016年度からはここに企業ルートからの院生がくわります。3つは、21世紀の自治・分権社会をになう人材を「地域公共人材」という言葉で提示してきました。地域公共人材とは、グローバルな視野をもちつつ、暮らしの現場である「地域」（ローカル）に足場をおいて考え、行動する人材つまりグローカルの人材ということです。

本書は開設以来、本大学院における特色ある講義科目である「地域リーダーシップ研究」（全国の先駆的自治体の首長やNPOの代表による講演と討議）と「先進的地域政策研究」（全国の先進的政策を進めている自治体・NPOの責任者からその内容について講演を受け討議する）の講演記録をもとに編集・発刊してきました。本書が例年同様、21世紀における市民自治と持続可能な地域社会実現の方向性をしめす資料として活用されることを祈念します。

NPO・地方行政研究コース 運営委員長
大矢野 修

Contents

発刊にあたって

NPO・地方行政研究コース 運営委員長 大矢野 修

1

第1部 首長からの発信

- 今、私たちが必要とする政治とは
～嘉田由紀子 前滋賀県知事からのメッセージ～
前滋賀県知事 びわこ成蹊スポーツ大学学長 嘉田由紀子 1
- 自由・自治都市 堺の挑戦
～なぜ、私は大阪都構想に反対なのか～
堺市長 竹山 修身 21

2

第2部 地域からの発信

- 何度でもやり直せる社会をつくりたい
～若者とホームレスのおっちゃんて街を変える～
NPO 法人 Homedoor 理事長 川口 加奈 33

第3部 自治体職員からの発信

全国が注目／就労と福祉をつなぐ自治体政策・豊中モデル
～生活困窮者自立支援制度の施行を前に～

豊中市・福祉事務所 西岡 正次 47

工都から成熟都市へ
～尼崎市における「都市計画」の転換と事例～

尼崎市都市整備局住宅政策部住宅整備担当 課長補佐 鄭 英柱 61

第4部 EU からの発信

低炭素社会のための「持続可能な消費」モデル

欧州経済社会評議会

「運輸エネルギー・インストラクチャー・情報化社会局（TEN）」局長 エリック・ボンデュー 73

なお、各講師の方々の肩書は、当時のものであることをお断りしておきます。